

# 地域医療を担うドクター vol.9

## 医療法人 ソレイユ ひまわり在宅クリニック



熊本市江越で在宅医療を総合的にサポートしている「ひまわり在宅クリニック」院長 後藤慶次先生（50 歳）にお話を伺った。

### お互いの心情を分かち合う 第 1 回 家族会を開催

2011 年 6 月 18 日 時折激しい雨が降る中、「ひまわり在宅クリニック」の第 1 回 家族会が開かれた。家族会とは、半年から 1 年半ほど前に“家族を自宅で見守る”という同じ経験をした遺族が故人を偲び、思い出を語り合うことでお互いの心情を分かち合うことを目的としたものである。

第 1 回 家族会には、11 家族 18 人が集まった。後藤院長の挨拶の後、参加者は家族を亡くされるまで、また亡くされてから今日までに経験されたことについて自由に語ったという。「参加された方々は、時には涙をいっぱいにして、時には笑顔を見せながら故人の思い出を話されました。参加された皆さんが、自分と同じ経験をした他の人の話を聞くことで、家族を亡くした悲しみや寂しさを少しでも乗り越えることができれば、心のケアに繋がると思い開催しました。同時に、家族会は在宅ケアを行う私たち医療スタッフにとっても、亡くなられた患者さんのケアが十分にできたかどうかの勉強の場にもなると思います。」

「高齢化が急速に進み、また癌患者さんが増える時代において、ますます在宅医療の必要性が高まっています。在宅医療をサポートする上で患者さん本人のケアを行うことは当然ですが、残された家族の心のケアを行うことも大切だと考えます。」と語る後藤院長。

我が国における在宅医療の必要性は、今回（2012 年）の診療報酬改定において、夜間診療や訪問看護に手厚く報酬配分するなど在宅医療を強化し、介護との一体的充実を図ることに表れていると言えよう。

### 麻酔科を選択 ペインクリニックに傾倒

「私は未熟児で生まれ、小学校の時は身体が弱く度々病気をしていました。私が生まれた所は宮崎県の無医村のような小さな町で、一番近い病院へ通うのにも 1 時間半ほどかかりました。そのため随分親を困らせたと思います。ひょっとしたら、そういう

幼少期を過ごしたことが、私が医者を目指すきっかけになったのかもしれない。」

「その後、宮崎市内の高校を出て熊本大学医学部へ入学しました。大学へ入ってからは、一生懸命に医学の勉強を行ったというより、むしろ夢中になっていたのは部活のサッカーでした（笑）。大学を卒業する時、私は専門科目として麻酔科を選びました。麻酔科に入局したのは、人間を全体的に学ぶことで救急蘇生など医者としてやるべきことをしっかり行えと思ったからです。」

「麻酔科では、手術室での麻酔管理、集中治療、救急、ペインクリニックとしての疼痛治療が主な仕事です。しかし、私が麻酔科に入局した頃は、どちらかというと手術室で麻酔をすることがメインの仕事になっていました。私は研修医の頃から患者さんと話すことが好きだったものですから、手術室で意識のない患者さんを相手にするより、ペインクリニックとして患者さんの疼痛治療を行うことに傾倒していきました。」

「大学を卒業して 10 年間、麻酔専門医として熊本の基幹病院で働きました。ペインクリニックに疼痛治療で来院される患者さんは、単純な痛みではなく、心療内科や精神科も受診するなどいわゆる複雑な痛みを訴える患者さんが多かったですね。ですから、疼痛治療を長いスパンで考えないといけないケースが多々ありました。基幹病院のペインクリニックでは末期の癌患者さんと接することも多く、私は麻酔医というよりも、次第に緩和ケアを主体とした診療ができないものかと考えるようになりました。」

「基幹病院勤務の後、内科系クリニックに 4 年間勤務し一般内科と在宅医療を学びました。当時、在宅で癌患者さんを診ることがありましたが、その際手術を行った病院のフォローが十分でないと感じることもありました。何度かそんな経験をしたので癌患者さんの在宅医療の起点となり、併せてホスピス・緩和ケアを専門的に学びたいと考え、平成 13 年『社団法人 熊本市医師会 熊本地域医療センター』へ勤務することになりました。」

「在宅医療における癌患者さんの問題点とは、それまで入院していた病院から亡くなる直前になると急に『うちではこれ以上治療ができません』と言われ自宅に帰されるということでした。当然そういった患者さんは、痛みによってかなり苦しんでいる状態です。それは、患者さんにとって人生最後の時間を家族と良い状態で過ごせないということです。当時こういったことを少しでも改善したいと考えていました。」

### 在宅ケアをライフワークへ 在宅療養支援診療所を開設

「熊本地域医療センターでは患者さんを自宅に帰す時は必ず開業医の先生に紹介するようにしていました。しかし癌患者さんですと、なかなか引き受けてもらえません。そんな時は、結局自分が外に出て診ていました。私は、在宅の癌患者さんを引き受けてもらえない経験を何度かするうちに、受け皿がないのなら自分でやろうという気持ちが強まりました。」



ひまわり在宅クリニック

「平成 21 年 4 月、熊本市平成町で『ひまわり在宅クリニック』を開院しました。一般的にクリニックを開業するには、大きな借金をしなければなりません、私の場合は在宅医療専門ですのでいたって軽装で始める事ができました。開業して 4 ヶ月は、私と家内の 2 人でやっていました。また、熊本地域医療センターにいた時から訪問看護師やケアマネジャーと在宅医療のチームを構築していましたので、開業してからの診療にあまり不安は感じていませんでした。開業して 1 年経った頃、経営的に大丈夫という確信が持てましたので、現在の江越に新築移転する事を決めました。」



後藤院長とスタッフのみなさま

「現在診療しているのは、癌患者さんが 3 割、老人ホームなど施設に入っている患者さんが 3 割、神経難病や認知症の患者さんが 3 割です。開業して在宅医療を行う時重要なことは、開業する地域において訪問看護師、ケアマネジャー、ヘルパーなど様々な立場の方とチームを構築することだと思います。もちろん医師の仕事は大切ですが、在宅医療において患者さんを身近で支え続けるのは、患者さんの家族と、そういう方々が中心となるからです。ですから、在宅の患者さんやその家族の多様化したニーズに応えるためには、在宅医療を支える人達を上手にサポートし活用できなければならないと思います。そんな理由から、当院の看護師は外部の訪問看護師やケアマネジャーが意見を言い易いように環境づくりを行っています。」

「患者さんの看取りの時、必ずしも私達医療スタッフが側にいる必要はないと思います。患者さんが苦しむことなく、ご家族で十分看取ることができるように、つまり家族だけで最期の別れができるように、事前に対応方法を知らせておくことも大切だと考えています。」

『ひまわり在宅クリニック』の チーム医療の一翼を担うアイティーアイ訪問看護ステーション『いきいきらいふ』所長の濱崎は「後藤先生からは在宅医療における患者さん対応やマネジメントなどを勉強させて頂き本当に有難いです。私たちも日々努力・成長し、一人でも多くの患者さんが充実した在宅療養をおくれるようにサポートしたいと思います。そして先生方から常に信頼を戴



「いきいきらいふ」の訪問車両

けるステーションでありたいと考えています。」と語る。

『ひまわり在宅クリニック』では、平成 23 年 4 月より、脳神経外科の栗野雅仁医師が副院長として勤務している。後藤院長は「栗野先生が私と違う視点で患者さんを診ることは、在宅医療を行う上で大変心強い存在となっています。」と語る。

### 患者さんの生きてきた証 在宅医療ボランティアの養成

「緩和ケアを行う時、痛み止めを使って症状を緩和することは最低限大事なことです、それはあくまでただの入口にしか過ぎません。緩和ケアで重要なことは、患者さん本人や家族の生き方を尊重することだと思います。」と後藤院長。

そんな後藤院長へ宗教観について尋ねてみた。

「見えない世界のことはよく分かりませんが、患者さんには『あなたは病気で辛い思いをしているけど、家族と一緒に過ごして頑張ってきた証は、これからもずっと家族の胸の奥に残ります。そのことが、残された家族の生き方や人生に少なからず影響を与えます。だからあなたが生きて頑張っていることは、すごく意味があることなんです。』と話します。なぜならば、患者さんの家族にはもちろん科学的遺伝子が受け継がれていますが、思想・信条・哲学といった精神性のようなものは、直接永く接していないと伝わらないと思うからです。だから、患者さんが亡くなるという最期の場面で、どのようなサポートを提供できるかが、緩和ケアに携わる医療者の力量だと思います。」

最後に後藤院長は今後の抱負を次のように語った。

「私達が訪問している熊本の南部から西部地域において、在宅医療に関わる訪問看護師やケアマネジャー、ヘルパーの皆さんに緩和ケアの研修を継続して行い、家庭で患者さんの最期を看取れる人々を増やしていきたいと考えています。それは、超高齢化社会において在宅医療を担う人々がかかなり不足すると考えるからです。熊本のような地方都市では、地縁とか血縁の人々だけで在宅の患者さんを支えるのは難しいと思います。それを少しでも解決できるように、若い世代や看取りの経験をしたことがある方など、在宅医療のボランティアを養成したいと思っています。一人の医師が在宅医療を志したときに、即座に在宅チーム医療が構築できるようにすることが当面の目標です。」

### 施設名：医療法人 ソレイユ ひまわり在宅クリニック

場所：熊本市江越 2 丁目 14-26  
URL：http://himawari-clinic.info/  
取材・編集担当  
アイティーアイ株式会社 営業本部 満尾・小川  
福岡市博多区博多駅南 3-7-37  
Tel: 092-472-1881

支店  
福岡・北九州・久留米・長崎・佐世保・大村・大分・熊本・八代・鹿児島・宮崎・沖縄  
営業所  
山口・筑豊・佐賀・五島・天草・川内・延岡・都城・鹿屋  
連絡事務所  
東京・東関東・千葉・東京西・神奈川

※ 弊社では、在宅医療や介護における商品やサービスの提供を行っております。お気軽にお問合せ下さい。